

「街の骨格」となる道路や緑地、広場を先行して計画することで 住民の生活を意識した街全体のトータルデザイン

1 街の骨格である「環状道路」「7つのクドサク」 「4つの広場」「中央緑地」



通過交通や車のスピードを抑制する
7つのクドサク(全体俯瞰写真)



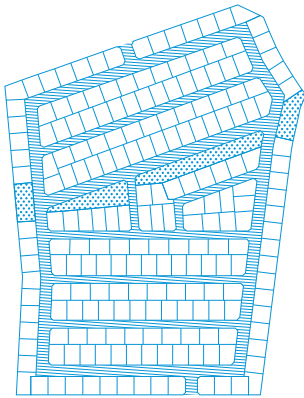
街のシークエンスが生まれるべく緩やかな
カーブを描く環状道路



北側の交差点に位置し街の顔となる冠ひろば



整備された庭園というより野趣に富んだ
野っ原を意識した中央緑地



機械的に区画割された場合の計画

“当たり前”の宅地開発に
一石を投じる計画



“街の骨格づくり”を念頭に入れた本計画

1 樹木をモチーフとした
無垢鉄製のトレリス

2 計画のコンセプトを
明示した街のマップ

オリジナルの物が溢れる
中央緑地

3 野面仕上げの石を使い、
緑と馴染んだ石舗装広場

2 個々のデザインは、やり過ぎることなく 自然なフォームを深く追求。

4 様々な住民の活動に
利用できる集会所
(木造1階建)

5 小さな生き物の住む
ビオトープ池

11 主に国産材を使用した
オリジナルデザインの四阿

6 春には桜のトンネル
となる桜並木

7 街の名前をイメージし
空や雲をモチーフとした
石ベンチ広場

8 15トン強の小松石をそのまま
据え付けた遊べる巨石

9 ドングリのシンボルツリー
(シラカシ)

10 芝生の築山と
月形の排水用栗石敷

3 住民の年代や趣向性、気分によりその日過ごす場所を選び、 パブリックとプライベートを使い分けられる構成。



最もプライベート度の高い各戸内、
そして占有庭では家族や友人と寛ぐことができる。



宅地に囲まれた7つのクドサクでは
それぞれの宅地部の住民同士がシンボルツリーの周りで
季節を感じながら声を掛け合う。



公共度の高い中央緑地内には集会所
やビオトープ池を含め様々なスケール
や雰囲気「体験の場」が点在。



各広場ではフリーマーケットや
キッチンカーを導入したイベント
等で住民以外の方も訪れる。



プライベート度

パブリック度

